

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 9月号

令和6年 9月 2日

校長 楠山 小百合



実りの秋へ ～この夏の経験を生かして～

『勇気のかぎで未来の扉を開こう』

とても暑い夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。子どもたちの元気な姿とにぎやかな声が、学校にもどってきました。まだまだ暑い日は続きそうですが、朝夕の夕風に秋の気配も感じられるようになりました。屋上の田んぼでは稲の花が咲き、穂をつけ始め、「実りの秋」を迎えようとしています。子どもたちにも夏の経験を生かして、これからの学習一つ一つを大切に、さらに力を伸ばして「実りの秋」へとつなげてほしいと思います。



秋は、運動会をはじめ6年生の修学旅行など、子どもたちにとっても今までの学習の成果を発表したり、節目となる行事が続きます。様々な活動を通して、今までの学びを振り返り、自分の成長を確かめる機会にしていきたいと思います。

今年の学校のスローガンは、「勇気のかぎで未来の扉を開こう」です。運営委員会を中心に、それぞれの学級の意見を一つにまとめて決めました。今の汐見台小学校にふさわしい、力強く勇気が湧いてくるような、すばらしいスローガンだと思います。体育館の窓に貼られたスローガンの文字は、各学級でデザインし、みんなで協力して完成させました。一枚一枚が明るくすてきな作品です。子どもたちの自主性や主体性を大切にしながら、豊かな人間関係が築けるように教育活動を進め、未来を切り開くたくましい子どもたちを育てていきたいと思っています。



汐小 米づくり『稲の開花』

汐見台小の屋上田んぼの稲は、神奈川のブランド米『はるみ』。「湘南の晴れた海」という名前の由来どおり、毎日湘南の日差しをたくさん浴びて、夕風に吹かれながら大きく育ちました。

8月14日（水）には、小さなかわいい花をつけ、今では稲穂の頭も垂れはじめました。そんな中、2度も台風が接近し、ドキドキしましたが、被害もなくほっとしていたのも束の間、カメムシが発生。稲の穂を吸汁している姿が見られ、所々黒くなっているのが気になります。今後の台風の動きも心配ですが、嵐に負けず、そしてカメムシにも負けず、たくましく育て、豊かに実ってほしいです。



汐小 しょうゆづくり『もろみ、発酵中』

昨年度から体育館横の空き地を耕して、大豆を育てています。今年度も3年生が『津久井在来』という品種の大豆を育て、8月12日（月）には、紫色の花をつけ、10月中旬には枝豆が実る予定です。

また、大豆の発酵食品「しょうゆ」づくりにも挑戦をしています。5月に仲よし級の子どもたちを中心に醤油こうじと水と塩を混ぜて「もろみ」を仕込みました。そして、樽から樽に「もろみ」を移す『天地かえし』を行いながら、「もろみ」を育てています。夏休みの間は、3階の渡り廊下に置いて、太陽の力をたっぷりいただきながら発酵が進み、甘いにおいが校舎に広がっています。来年の1月頃、しぼり師の方にお越しいただいて、「もろみ」から「しょうゆ」に仕上げしていきます。



仕上がりの「しょうゆ」の味は、「もろみ」への愛情しだい… おいしくなあれ！